



ジャカラнда

Jacaranda

ナミビア・オマルル通信NO.20

2023.10.15

JICA海外協力隊

豊田桃香

ナミビアの砂漠にしか生え育たない植物

～奇想天外/ウェルウィッチア～

みなさんは、「**奇想天外 (キソウテンガイ)**」という植物を知っていますか？これはナミビアのナミブ砂漠に、自然と生え育っている植物です。名前からしておもしろいですが、「**生きている化石**」とも呼ばれ、じゅみょうがとても長いのです。1000年以上は生きてと考えられているようで、長いものは2000年をこえている可能性もあるそうです。

先日、ウェルウィッチアのある所を通りかかり、写真をとりました。先生のサイズと比べてみてください。



なんと、10年に1度花を咲かせるそうです。残念ながら、花が咲いているところは見ることができませんでした。もっと大きいものもあるようで、見てみたいと思いました。花が咲いているところも、いつか見てみたいです。

日本では、京都府立植物園でも栽培されているそうです。もしかしたら見たことのある人もいませんね。

英語では、「**Welwitschia (ウェルウィッチア)**」というそうで、ナミビアの国章にもえがかれています。生存 (生きること) ・不屈 (どんな困難にぶつかっても、意志を貫くこと) の精神を表しているそうです。

ちなみに、ラグビーのナミビア代表のチームの名前は、この植物の名前からとって、「**ウェルウィッチアス**」といいます。負けてはしまいましたが、ラグビーワールドカップ2023 フランス大会にも出場していました。

